

YUHO 有朋

University of Marketing and Distribution Sciences

No.31

有朋会

2024.12

流通科学大学
同窓会報

CONTENTS

- 流通科学大学学長 × 有朋会会長 対談
- 同窓生インタビュー
- ホームカミングデー開催
- 同窓生 at 尼崎
- RYUKAニュース2024
- 個別同窓会援助制度
- 有朋会ニュース
同窓会ニュース／イベントニュース／支部ニュース
- 支部紹介／報告
- 事務局からのお知らせ

流通科学大学学長

対談

有朋会会長

卒業生ならではの視点を

大学の確かな価値の創造に



有朋会会長
岡本 一展

流通科学大学学長
清水 信年

社会連携活動で感じたことが 能動的な「次の学び」にも

岡本 今年の4月に学長に就任されましたが、流通科学大学へ着任されたのはいつ頃でしょうか。

清水 2000年の春から、奈良大学の社会学部で大学教員としてのキャリアをスタートさせ、2003年に流通科学大学に着任しました。

岡本 研究の専門はどのような分野ですか。
清水 マーケティングで、特に商品開発をテーマに研究しています。本学に来てからはPBなど小売業の商品開発にも、さらに関心を持つようになつてきました。

岡本 社会連携活動にも注力されていますね。
清水 2009年から社会連携推進委員として学生が企業や地域に提案する活動への課題を取り扱いました。これが社会共創活動に繋がっていますので、取り組みは他大学よりも早かったと思います。いま本学では、この社会共創活動に力を入れており、学生が普段学んだことをもとに、企業に商品開発のプレゼンをしたり、地域の活性化の提案をして一緒に取り組んだり、意欲的に活動しています。その始まりから携わったことは、とても大きかったですね。

岡本 ゼミでも社会連携を重視されていますか。
清水 本学に着任してすぐにゼミを持たせていただき、現在もゼミを持たせていただいています。基本的に20年間、その姿勢は変わっていません。着任した当初は、流通科学大学の学生に向けてどんなゼミにするかを模索していたのですが、ゼミの1期生が3年生の時、製菓会社へ新商品を提案するコンテストに参加する機会があり、神戸大学や甲南大学といった大学と同じ土俵でプレゼンをして優勝しました。こういった活動において本学の学生はかなり高いレベルのことができるのだと

感じ、以降は企業などへの提案活動をするゼミにしようという方向性を定め、それを現在も継続しています。ゼミ1期生の頑張りがなかったらこういった方針になっていなかったかもしれません。提案に際し、ある程度のクオリティの提案ができないと継続して企業にご協力いただけませんので、ゼミ生はしっかりと取り組んでくれていると思います。

岡本 ゼミでの活動が、大学の社会連携推進にも結びついているのですか。
清水 ゼミでの経験を踏まえて、社会連携推進委員の時にいろんな提案をさせていただきました。本学主催の商品企画コンテスト、神戸学生イノベーション・グランプリ（I-Iグランプリ）も私が提案させていただきましたが、そのベースもゼミでの取り組みなどを反映したものです。

岡本 社会連携などを取り入れてから、学生に変化はありましたか。
清水 自分に足りないことやしっかりと学ぶべきことに自分で気づいて、「次の学び」に繋がってもらえているという効果を感じます。実践の場に立つ、挑戦してみるということで、マーケティングの分野では消費者の理解を深めたり、企業の抱えている問題を自分ごととして考えたり、競合会社のことを調査したりすることになります。普段、



I-1グランプリ(2023年度優勝の清水ゼミチーム「シミックS」)

授業でマーケティング関連や消費者行動論を勉強していても、テストで良い点をとって単位がもらえたらOKということが多いと思うのですよね。ところが、自分で市場調査や企業分析をやってみると、教科書で学んだはずなのにできないということもあるわけです。しかし、そういう経験をすることが、能動的な学びのきっかけになるのです。実際に、準備をして企業の方々の前でプレゼンをするという経験も身につくので、活動することで成長に結びついていると思います。

岡本 それは大きいですね。大学の授業でマーケティングを学んでも、社会人になってマーケティングや商品開発、戦略立案などの実務に携わると「このことは大学の授業にあった気がする。学生のうちにマーケティングの勉強をちゃんとしておけばよかった」と悔やむ場面が多々あります。だから学生のうちに「能動的な学び」ができれば、きっと社会に出たときに大きな力になりますね。

清水 マーケティングは傍から見ると華やかな仕事と思われがちですが、実際にやってみると地道な作業も多かったりします。イメージ先行で将来のキャリアを考えるのではなく、実際に体験して本当にその道でやっていけそうか、自分の思い描いたような仕事なのかどうか、を実感できるのでミスも防げるかなと思います。経験することで、ちゃんと自分で気づいて選択できるのは大事なことでないでしょうか。

岡本 一方、新入生にマーケティングへの興味を抱かせるのは難しいと感じますが、何か工夫をされているのでしょうか。

清水 確かに、進路を考える高校3年生の段階で「マーケティングを学ぶ大学です」と言ってもピンとこないことが多いですね。知らない状態で入学しても、全員が履修する「流通科学入門」など、



気づきのフィールド演習

「消費者としての自分への影響などを考える機会が授業であつたり、「自己発見とキャリア開発」という1年生向けのクラスの中で流通やマーケティングに触れる機会を設けていますので、本学に入学していただければマーケティングの面白さに気づいていただけたらと思います。

実際、2年生でゼミを選択する時には、マーケティングのゼミを希望する学生は多いのですよ。マーケティングとは一体なんなのか?とマーケティングを理解してもらったためにはそれなりの時間がかかるという実感があります。

岡本 実はマーケティングって身近なことなので、面白さに気づけば興味を抱きやすいのかもしれないね。

来年度からアップデートする「夢の種プロジェクト」への思い

岡本 いま流通科学大学で力を入れていることは何でしょうか。

清水 3つあります。1つ目は2015年から始めた「夢の種プロジェクト」です。4年間で「なりたい自分」を見つけ、「見つけた夢の種を育てて花を咲かせる」というカリキュラムです。開始し

ていくこと、それが実現できて、はじめて花が咲くことになると思っています。そういう意味でも、しっかりと学んでもらって社会に出てもらうことが大切だと考えています。

岡本 そもそもやりたいことが見つからないと、自分の将来のために必要なことを学ばずに学生生活を終えることになってしまいますよね。逆に目標が定まれば、仮にそれが途中で「違うな」と思ってもやり直すことになっても、その間の学びから得られるものは大きいと思います。

清水 自分で選択してやってみても、うまくいくこともあれば、いかないこともあります。しかし、人から言われてやった経験ではなく、自分で能動的に取り組んだというプロセスが大事なんです。

岡本 「夢の種プロジェクト」を10年間続けられてきて、学生に変化はありますか。

清水 自分たちの頃と比べ、すごく真面目に取り組む学生が増えているという実感があります。一方で、さらにもう一つ上のレベルを目指したいというポジティブさは物足りない感じがします。活躍している先輩方の話を聴く授業も多くありますが、「こうなりたい」という気持ちを醸成するのは難しいようです。もしかしたら憧れを抱かせるというアプローチは違つのかもかもしれません。

岡本 それも時代の流れなのかもしれませんね。

世界に開かれたキャンパスは中内功さんの理念の体現

清水 2つ目は、社会共創活動にもさらに注力していきたいと思っています。

岡本 一ヶ月前のチャレンジプロジェクトで発表する学生は、積極的で優秀な学生が多いといった印象があります。

清水 目立つのはそういう学生ですが、私の立場

で10年が経ちますが、来年度からは、さらにパワーアップしていきたいと考えています。また入学時は、将来の社会に出てからのイメージが固まっていない学生は多いので、1年生の最初から専門分野の勉強を始めるのではなく、企業活動を含めた社会の現実に触れてもらうため、さまざまなフィールドに行ったり、いろんな大人の方々の話を聞いてもらいます。その中で「こういう仕事があるのか」、「自分にはこんな仕事が合いそうだな」ということに、気づいてもらえる機会をたくさん用意をして、将来のイメージを形作ってもらったのが最初のステップです。自分の進みたい道がある程度わかってきたら、次はそういう自分になるための専門の勉強に進みます。夢の種を育てる段階として、2年生以降に専門課程を学ぶのですが、来年度に入学する学年から、2年生後期以降のゼミのやり方を大きくリニューアルする予定です。これまでの10年は、ゼミを選択しなくても卒業できるカリキュラムでしたが、それを必修にします。いまは3年生の夏休みから、インターンシップなど実質的な就職活動がはじまり、就職活動は早期化・長期化しています。そのため大学で授業にきちんと出て勉強するのが難しい状況になってきています。ですから、大学4年間の最後まで授業も履修しゼミも継続して活動する、という形でしっかりと勉強してもらおう。そういうことができるカリキュラムに、来年度の入学から移行しようという準備を進めています。

岡本 「夢の種」を咲かせるための学びの環境を充実させるのですか。

清水 「夢の種」の花が咲くのは就職先が決まることと考えがちですが、それで終わりではありません。実際に社会に出て仕事をして、そこで本当に企業や社会に貢献できる人材に育つこと、あるいは10年後や20年後のプライベートな生活が充実

で考えないといけないのは、積極的ではない学生にも、充実した学生生活を過ごしてもらつたため、いろいろな学びの経験を積んでもらえる機会をちゃんと用意することです。例えば、グループ単位で活動に参加し、共同作業の中で役割を分担すること、積極的な学生から刺激をもらうきっかけにすることなどです。企業に入ってもそうですよね。個人プレーだけでは仕事になりませんから。

岡本 確かにそうですね。大学が力を入れていることの3つ目は何でしょうか。

清水 留学生支援です。留学生の比率が高まっていますので、今後は、ますます力を入れていかなければなりません。

岡本 現在、留学生はどのくらいの割合で、どこからの留学生が多いですか。

清水 今年4月に入学した学生で3割ほどです。うち中国とベトナムからが4割ずつほどで、あとは東南アジアと南アジアです。欧米からの留学生もいますが、主にアジアからが多いですね。

岡本 留学生が多いということは、それだけ外国人の学生に留学先として評価されているからなのでしょう。

清水 それもありますが、日本語学校からも高い評価をいただいていることも大きいですね。日本語学校の先生が選定する日本留学アワードで本学は4年連続で西日本で1位となり、日本全体で外国人留学生が減ったコロナ禍においても本学を志願する留学生はそんなに減らなかったのです。

岡本 どのような取り組みをお考えですか。

清水 まずは日本語のレベルを定以上に上げるところを目指します。それから、日本での生活に馴染めるような学生生活の支援も必要です。そして、いまは政府も力を入れていますが、卒業後に日本に定着して外国人の有能な若者に活躍してもらえよう、日本の企業へ就職を希望している留学生



有朋会会長 岡本 一展

Profile

1995年3月 商学部流通学科卒、4期生。在学中は、学園祭実行委員会や卒業記念パーティ準備委員会に所属し学内活動に積極的に参加。卒業後、株式会社ベンチャー・リンクに入社。その後、WizBiz株式会社を設立し、取締役を務める。2016年6月より有朋会会長に就任。



流通科学大学学長 清水 信年

Profile

1995年 神戸大学経営学部卒、2006年同大学院経営学研究科博士課程後期課程修了。奈良大学社会学部専任講師を経て、2003年に本学着任。商学部経営学科主任、大学院流通科学研究科長、副学長を歴任し、2024年4月より学長に就任。

が、きちんと採用してもらえないような就職サポートにも注力していかないといけないですね。

岡本 本学で留学生が増えているのはなぜですか。

清水 留学生の募集に力を入れているため、それには2つの理由があります。まず、建学の理念をはじめとする中内切さんの考えを振り返ると、国際化を強く意識しているからです。中内切さんはキャンパスで日本語を禁止する日設けるなど、国際化の取り組みをしようとしていました。そして、大学名でもある、流通を科学するのは世界平和のためという理念からです。モノがきちんと行き渡るような世界が実現できたら奪い合いによる争いがなくなるという思いで、日本人だけではなくアジアを中心とした学生も積極的に受け入れて、流通の大切さを学んで世界平和に貢献してもらったことは、建学の理念であり本学が目指すべきところでもあると思います。

岡本 確かにそうですね。私は開学4年目の入学でしたが、その頃からクラスやゼミには留学生が何人もいて自然に一緒にいました。開学時から留学生を積極的に受け入れていたのですか。

清水 本学では、日本語を集中して勉強してもらう必要がある留学生以外は最初から日本人の学生と同じクラス、同じ授業、同じゼミという形で、日本の企業のことや学んでもらう、日本人とのコミュニケーションの経験を深めてもらって、日本であるいは日本人とビジネスをするために成長してもらいたいと思っています。また逆に、日本人の学生が留学生から刺激を受ける機会も多いのです。私たち教職員も留学生から新たな知的な刺激を受けたり、違ったものの見方を教えられたり、そういう経験が多々あります。

岡本 今年の春頃、3年生の留学生約20名が就職活動支援の一環で東京へ来たのですが、その際、

20〜30名が参加しています。年齢も業界もバラバラですが会社経営という共通項があるので毎回とても盛り上がりがあります。今後は、例えばマーケティングや人事など職種ごとの交流会や、ゴルフや釣りなどの趣味で集う交流会などもやってみたいですね。このように共通項によって世代を超えて集まれる機会を網の目のようにつくりたいと活動しています。あと、**将来の同窓会を担う現役学生との接点を持つことにも力を入れて取り組んでいます。**それによって同窓会に若い同窓生がどんどん参加してほしいと思っています。あと、同窓生が集まる場でも感じるのですが、**お互いにそれまで知らない者同士でも、年齢が離れている者同士でも、驚くほどすぐに打ち解けて楽しく話し込んでいます。**そして、そういう場で同窓生から必ずしみ出てくるのが、**流通科学大学の愛校心・愛着心**ですね。

清水 卒業生のみならず流通科学大学に愛着を持っていただいて、ありがたいです。

岡本 中には、自分でできることがあれば手伝いたいという同窓生もいます。母校に貢献したいという同窓生が多いのも、有朋会の特徴なのかもしれません。有朋会もしくは同窓生一人ひとりに期待されることをお伝えいただけませんか。

清水 これまでも十分、有朋会を中心に同窓生の方々からのご助力は多大にいただいています。改めて、サポートいただけることは3つほどあると思います。1つ目は、「夢の種プロジェクト」の特に1年生向けの夢の種を探すというプロセスで、社会の第1線で仕事している方々と触れる、というのが大事なフェーズになるので、大学までお越しいただき、実際に学生に授業でお話ししていただいたり、コミュニケーションをとっていただいたり、そのご協力をしていただけることは同窓生のみなさまに一番お願いしたいところです。2つ目は

東京で働いている留学生の同窓生も10名ほどが集まり交流を持ちました。その時、留学生の同窓生と留学生の在学生在がコミュニケーションをとれる機会が、もつとあるといいなと感じたんですよ。国内にいる留学生OBのネットワークをつくらないといけないと議論しているところです。外国人も日本人もお互いにプラスの影響を受け、それを成長に結びつけられたらいいですね。

清水 お互いを尊重し合える「多文化共生」は、これからの社会に必須です。また、そういう環境で4年間を過ごすことを、日本人の学生も留学生もプラスの価値として感じてもらいたいですね。ですから、国籍や文化を問わず、すべての学生が4年間、充実した学びを経験して卒業できるようなキャンパスづくりが一番大事だと思っています。

世代を超えて、ひとつの輪に 母校愛という絆で繋がる有朋会

岡本 有朋会は2024年で創設から32年になりました。長い歴史のある大学と比べればまだまだ少ないですが、同窓生の人数は約2万6千名になりました。ほぼ全員が20代から50代です。当初に比べれば年齢が離れた同窓生も増えてきました。それでも会社であれば同じ職場にいる年齢の幅ですし、家庭では親子ぐらいの年齢差です。創設100年を超えるような大学に比べればまだまだコミュニケーションをとりやすい年齢幅です。で、今のうちに**世代を超えてひとつのコミュニティ**を保つていきたいですね。

清水 いろいろな世代が集まれる場であるというですね。

岡本 そこで注力しているのが**共通項で集まる場**をつくることです。その手始めに数年前から会社経営をしている同窓生だけの交流会を催し、毎回

りゆうか祭やネアカ塾など、大学でのイベントにご参加いただいて、学生と直接コミュニケーションをとっていただきたい。3つ目は、いま地方の私立大学は地域に貢献できるかが存在意義として重要視されてきています。その時、大学の独りよがりでの考え方は評価されないし役にも立ちません。実際に地域でどんなことを期待しているのかであったり、本学ですと、特に企業や社会の変化に対応できるような若者を教育できているのか、ということも、社会からの視点で、大学側にご意見をフィードバックをお願いできればと思います。社会や企業の現場でどういうことが起こっていて、それを大学教育にどういう風に反映させるべきか。卒業生だからこそ感じることを、期待することとは当然あると思います。そういう観点からのご意見は貴重ですので、アンケートのみならず直接ご意見やご指摘を寄せていただくこともお願いします。

岡本 アンケートはこの会報誌でも実施したいと思っています。

清水 同窓生のなかには、いま改めて大学の先生の講義を聴きたいという声もあるそうですが、リスニングやリカレント教育をおこなうにあたって、大学側の一方的な考えでプログラムを用意してもミスマッチが起こると思うんですよ。流通科学大学で学び直しをしたい方は、社会人向け教育にどんな内容を期待しているのかをお寄せいただけるとうれしいですね。

岡本 学長にはぜひ、有朋会の集まりにもご参加いただいで、ワイワイとやっている中で、同窓生のいろんな考えや思いを受け取っていただければと思います。

清水 ぜひ！これからもよろしく願います。



ホームカミングデー2024



経営者の会 in東京



在学生支援「ゆかた着付体験会」



留学生「東京探検隊」

2022年パテ・クルート世界選手権で 初出場ながらチャンピオンの快挙!

神戸北野テラス <https://www.kobekitano-t.jp/>

味もデザインも繊細で美しい「宝箱」で世界一に



受賞作品のテーマ coffret au trésor (宝箱)

いつか自分で商売を...と
経営を学びに流通科学大学へ

実は、高卒で就職先が決まっていたんですよ。でも、いつかは何か商売がしたいなという気持ちを抑えることができず、経営の勉強をしたいなと思って流通科学大学へ進学したんです。入学後は...褒められるような学生ではなかったですね。あまり授業は真面目に出ていた方ではなく。でも、授業で社会のお金の流れを学ぶことがで

たことは本当に良かったなと思いますね。経済の仕組みを知っているだけで違いますし、いま実際に役に立っていますので。横山斉理先生のゼミだったので、大学対抗の商品開発の大会にゼミで参加したのですが、大塚家具に棚の提案をしたことはいい思い出になっています。結果はダメでしたけど(笑)。こういう仕事だからなかなか会えませんが、いまでもその仲間とはSNSで繋がっています。

熱心だったのはアルバイトで、和食のお店で働いていたんですよ。最初からきつちり料理人を目指していたわけではなかったのですが、漠然と「商売するなら飲食かな」と考えていたのと、一人暮らしだから飲食店で働けばご飯は食べて帰れるかなと。修業という程ではないですが、社員と同じくらい長い時間、厨房にいました。

卒業後も2年間、フリーターとして同じお店で働いていたのですが、店長が「和食ばかり見ているのも良くないんじゃない?」と気づかってくれて。「副料理長に話を通しておくから二回遊びに行っておいで」という感じで、神戸北野ホテルへ週1回のアルバイトに行くようになったんです。

**名門・北野ホテルで着実に
料理人としてのキャリアを積む**

そこからスタートして1年くらい経った頃、ホテルの厨房で何人か退職して、調理部長から「こつちの割合を増やしてくれないか?」とお声がけがあり、自分も新しい仕事が多くとも楽しかったのでホテルの比重が増えて

長の山口浩シエフは、フランスで修行しベルナール・ロワゾー氏にも学んだ有名な方なのですが、ジョークを交えつつフランスの文化についてもいろいろと教えてくれます。山口シエフのすごいところですか?お客さんが「あれが食べたい」と、メニューを指定してリピートされることがあるんですよ。例えば毎年「桃のスープ」が食べたいとか、そういうお客様が来られる。記憶に残る料理をつくることのできるのはいのちがよいなと思います。

**思い切って世界へ挑戦すると
ピエール・エルメ氏のお眼鏡に**

パテ・クルートの選手権に挑戦するきっかけは、僕の前のチャンピオンの福田耕平さんとの縁です。福田さんが山口シエフのお知り合いで、もし興味があるなら、実際に福田さんの仕事を見せたらいいかなと。ハムやソーセージなどのシャルキュトリ(食肉加工)にはもともと関心があったので、けれど、世界レベルのものを見せてもらったら「やってみよう」という気持ちが出て、それで挑戦することになったんです。初出場で世界一になったのは、運もあつたのだと思います。

パテ・クルートとはフランスの伝統料理で、お肉のパテを生地で包み、オーブンで焼き上げるのですが、出来上がりから全部逆算して、ものすごく計画通りに進めていかないとけない。よく「3つの職がないとできない」と言われていて、パテは食肉加工職人の仕事、パイはパティシエの仕事、最後にコンソメを流すのですが、それは料

いきました。一時期ですが、和食とフレンチを同時にやっていたのは良い経験になったと思います。

そして年が明け、調理部長から「新入社員が入ってくる4月のタイミングで正社員にならないか?俺は来てほしい」と思っているから、枠は空けておく」という話があった。24歳だったので年齢的にも地に足を付けたいし、何よりもお世話になっている調理部長にそこまで言ってもらえるなら、神戸北野ホテルへ就職しました。

入社後も職場は同じですが、それまでと比べると責任感が違いましたね。仕事内容も変わってきて、技術的なことなどもどんどんと教えてもらえるようになりました。それから6年くらい神戸北野ホテルで腕を磨いた後、あべのハルカスのフレンチレストラン「エ・オ」で1年間、副料理長を務めて、昨年の12月に神戸北野テラスの副料理長を拝命しました。



神戸の絶景を一望できる神戸北野テラス

理人の仕事なんです。それを一人でやるのは結構無理な話で(笑)。

今回の受賞作「宝箱」のメインはジビエ、イノシシとシカで、50種ほどの材料を使っています。半年くらい試作を繰り返したのですが、1回つくるのに5日くらいかかるんです。通常の仕事もあるので、朝早くからの作業で。

自信は...良いところまではいけなという感じだったので、いざ発表という時にあの世界的パティシエのピエール・エルメ氏とずっと目が合うんです。「これはもしかして...」と思ったら名前が呼ばれて、もう頭が真っ白になって、その後のことはあまり記憶がないですね(笑)。

いまはシャルキュトリがメインで、お昼のコースで出させていたいただきます。同窓生のみなさん、ぜひ食べに来てください!商売をしたいという夢を抱いてこの業界に入っているの、いつかは自分のお店を開きたいですね。



(画像中央) 塩見さん ©Championnat du Monde de Pâté-Croûte.

神戸北野テラス
副料理長

塩見 隆太郎さん

PROFILE

2013年3月 商学部経営学科卒
横山斉理ゼミ

Feelings
&
Challenge

流通科学大学
同窓会



藤川球児氏
トークショー

今年も司会は
同窓生でKBS京都の
アナウンサー
梶原 誠さん



同窓生で
プロダーツプレイヤーの
永石 勇弥さん

同窓生デュオ!
にこいちの
井指 冬輝さんと
松田 央さん

わくわく
ひろば

上田義朗ゼミ
三二同窓会



年に一度、卒業生が母校に集う ホームカミングデー 2024開催!



8月4日(日)に同窓生が年に一度、大学に帰ってくる日「ホームカミングデー」が流通科学大学で開催されました。今年は約550名の同窓生や教職員の皆さまにご参加いただきました。

今年の特別企画は、元阪神タイガース・藤川球児氏のトークショーを開催。あわせて、ご家族でお楽しみいただける「わくわくひろば」も開催し多くの方で賑わいました。

RYUKA HALLで行われたトークショーの司会は、今年もKBS京都のアナウンサーである梶原誠さん(1995年卒)。藤川さんはYouTubeでも人気の、人を引き付けるわかりやすく軽快な語り口調でご自身と野球についての話を展開。事前に募集された質問にも丁寧に答えてくださいました。最後にはじゃんけん大会も実施され、サインボールをめぐって大盛り上がりとなりました。また、トークショー開始前に和太鼓部の演奏やアコースティックデュオ・にこいちの井指冬輝さん(2010年卒)と松田央さん(2010年卒)による歌のセッションもあり、さながらミニライブのように会場が盛り上がりました。

RYUKA DININGで開催された「わくわくひろば」では、毎年ちびっ子に大人気の「スタンプラリー・ガチャのコーナー」や「オリジナル缶バッジ作成体験」「スーパーボールすくいわなげコーナー」などを楽しめるスポットがあり、コーナーをまわって楽しむちびっ子たちの姿がありました。初の試み「ダーツイベント」では、プロダーツプレイヤーの永石勇弥さん(2023年卒)にレクチャーを受けトライする参加者も多く、会場ではさまざまな催しが行われ賑わいました。



福祉の世界で活躍する同窓生が
有朋会の絆で繋がりに新たな展開に



「人のため、社会のために」と志を同じくする濱田さんと岡本さんに、知り合った経緯や現在の連携、今後の展望について伺いました。

株式会社 DOORS 代表取締役 濱田 晃世 さん
1996年3月 商学部流通学科卒 向高男ゼミ チアリーダー部・ESS

Akiyo Hamada

学生時代は楽しかったですね！ 高校時代にアメリカに留学して、その時に憧れたチアリーディングをやりたいと、在学中にチアリーダー部を創設しました。でもノウハウはないし、コーチもないので、近くの大学にお願いして練習を見せてもらったり、教えてもらったりしてとても大変でしたが、その経験が起業するときに活かされたと思います。海外へもバックパックでよく出かけ、インドとネパールへ女子3人で旅をしたのは良い思い出です。

卒業後はシンガポール航空へ就職してCAをしていたんですけど、この仕事はあまり向いていないと思って2年で辞めてスペインへ渡りました。スペイン語の勉強のために行ったのですが、1年くらい飲んで踊っての毎日で(笑)。

帰国後は東京で英会話の教師をしたのですが1年ほどで神戸へ戻り、保険の会社に勤めつつ甲南大学のロースクールに3年間通い法律を学びました。そんな頃、勤め先の社長が福祉事業をはじめたいというので、一緒に就労継続支援B型事業所を立ち上げたのです。その現場で特別支援学校を出て事業所に入ってもなかなかじめないケースが多いと知り、また、障がいがある身内がいたこともあって、学校からワンクッションおいてやりたいことを見つけられるような場があればいいなと、2020年に自立訓練事業所を立ち上げて現在に至ります。

福祉に関しては全くの素人だったので苦労もありましたが、「人の役に立ちたい」という思いが自分を奮い立たせてくれました。将来は気の合う友人たちと一緒に過ごせる老人ホームをつくり、みんなで歌って踊って楽しく盛り上がりたいたいですね！

▷ベーシックアカデミー <https://basic-academy.jp/>

合同会社生活サポート 法人オーナー
合同会社就労サポート 法人オーナー
社会福祉士事務所生活サポート 代表 岡本 健司 さん
2004年3月 商学部ファイナンス学科卒 小無啓司ゼミ 社会イベント隊(ランボラ)

Kenji Okamoto

高校へはスポーツ推薦で入学したのですが、競技で挫折してやる事がなくなってしまっ。そんな時に「ちょっと行ってみようかな」と高校の近所の精神病院でボランティアをはじめたら、こういう世界があるんだなと感じ、ゆくゆくは福祉の仕事をしたと思うようになりました。それで、福祉事業所の運営をするなら経営のことを勉強した方がよいのではと考え、流通科学大学を選びました。ボランティアをしていた病院とはその後もずっとお付き合いがあり、現在は利用者の紹介などで事業所と連携していただいています。

大学時代はオフキャンパスプログラムで企業実習に参加しましたが、企業の方が学生に仕事について教えることはまさに就業訓練で、福祉に似たところがあるなと感じましたね。また、社会イベント隊ランニングボランティアサークルを立ち上げ、フィリピンへマングローブの苗を植えに行ったり、あしなが育英会の募金活動をしたりと色々な活動をおこないました。当時はたった5人の仲間だったのに、いまは部に昇格して100人近い部員がいると聞いてびっくりです！

卒業後は鉄道系列の流通関係の会社に就職したのですが、やっぱり福祉の仕事への情熱があって、大阪の生協に転職して福祉や医療に関わる業務を経験してから、不安もありましたけれど29歳の時に独立しました。それから13年、福祉の仕事はやり尽くしたと思えるほどやってきました。この業界は慢性的な人材不足なので、人材育成や事業の継承について、日々意識して考えているところです。

▷社会福祉士事務所 生活サポート・就労サポート <https://lifesupport-2011.com/>



神戸市で自立訓練事業所を立ち上げた濱田晃世さんは5期生。かたや尼崎市や豊中市で11か所の生活支援グループホームと3か所の就労支援施設を運営している岡本健司さんは13期生。在学期時は重なっておらず、事業内容も違う。全く接点がなかったお二人が出会ったきっかけは、ひとつの新聞記事。流科大の職員が濱田さんを紹介する記事を見つけて有朋会を通じ双方に声を掛け、2022年のりゅうか祭の日に懐かしのキャンパスで初対面となりました。

この縁が、やがて大きく実ります。岡本さんが新たにグループホームを開設しようと施設を整えたのですが、スタッフの確保が難しく断念することになりました。せっかく整備したのでこれを誰かに活用してもらいたいけれど、信頼できる運営者でないと。そんな時にふと思ひ浮かんだのが濱田さんだったとか。相談を受けた濱田さんは2024年春、その場所を活用し児童発達支援と放課後等デイサービスをはじめました。「それにしても先輩の手腕はすごい！なかなか受け入れてもらえないこともあるのですが、地域にあそまで溶け込んでいる事業所は珍しいですよ」と岡本さん。一方の濱田さんは「『ん？やっつて私のことを、先輩』って呼ぶんですけど、福祉の世界では岡本さんの方が先輩。とにかく業界の事情に精通していて、いつも勉強させてもらっています」と、お互い



児童発達支援 放課後等デイサービス Basic academy Kids (尼崎市)

をリスペクトしながら協力し合っています。今後は、濱田さんの事業所の出身者が岡本さんのもとで就労支援や生活支援の担い手となり、当事者だった経験を持つ人ならではのピアサポート(同じ立場や課題に直面している人同士が支え合うこと)ができるような環境を整えていきたいとのこと。濱田さん「福祉のみならず、いろいろな業種で人材不足が課題になりつつありますが、一方で私の職場には第二新卒となる同窓生もいます。有朋会が人材のハブとなって、業界を超えて繋がることのできるようになればいいですね。密な連携は、流通科学大学ならではの強みですから」と岡本さん。強く温かい同窓の輪がもっと広がれば、社会的課題の解決の一助になるかもしれませんね。

図書館はますます進化しています

同窓生も利用できます。詳細はこちら



ラーニングcommons

仲間と相談しながら学修できる場所。学修のためのオンライン通話や動画視聴も可能



図書館2F

より集中して学修がしたい学生のためのサイレントエリア



なりたい自分コーナー

夢の種プロジェクトになぞらえた人気コーナー。内定した先輩のオススメ本も



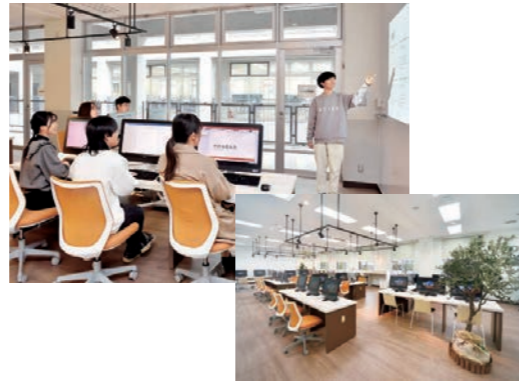
中内功氏コーナー

大学創設者である中内功氏の関連本を集めたコーナー



メディアセンター

メディアを活用したグループ学修にも最適な空間。プレゼンテーションの練習も可能



2コースが新設!ますます学びが広がります

2025年4月、「食」についての知識を深める「フードビジネスコース」、経済学×情報学という流科大ならではの学びを展開する「データサイエンスコース」が誕生します。

学部構成

商学部

マーケティング学科

- ブランド戦略コース
- 流通ビジネスコース

経営学科

- 経営戦略コース
- 起業・事業承継コース
- グローバル経営コース
- 会計コース
- **フードビジネスコース New**

経済学部

経済学科

- 現代経済コース
- 地域まちづくりコース

経済情報学科

- **データサイエンスコース New**
- 情報システムコース

人間社会学部

心理社会学科

- 心理コース
- 社会文化コース

観光学科

- 観光事業コース
- ホテル・プライダルコース

人間健康学科

- スポーツ健康コース
- スポーツマネジメントコース

商学部 経営学科

フードビジネスコース

食品の生産・加工・流通・消費に関する専門的な知識やスキルを身につけ、食の未来を創る。

「フードビジネス」には、製造業、流通業、飲食業、観光業、農業など、さまざまな形態があります。また、新たなビジネスも次々と生まれ、多様な競争と協働が繰り返されています。

食を通じたウェルビーイング(幸せや満足感)に貢献できる人材を育てる



「未来の食」を提案できる人材

身につく力

- フードビジネスへの理解力
- 経営学やマーケティング論の知識
- 食科学分野の知識
- 科学的思考力と問題解決力

人々のウェルビーイングの実現に貢献できる能力が身につきます。

経済学部 経済情報学科

データサイエンスコース

経済社会のさまざまな問題を情報技術で解決する。

データサイエンスコースでは、経済学と情報学を基礎としたデータサイエンスを学び、多様なデータを正しく扱う情報処理のスキルをもとに社会の動向や問題点を見極めることができる人材の育成を目指します。

経済分析と情報処理の能力を生かして仕事を進めることができるビジネスパーソンを育てる

「データサイエンス」を創造的に活用できる人材



身につく力

- 経済リテラシーによって、世の中での動きを観察し、その核心を考えるための視点。
- 情報リテラシーによって、コンピューターを活用した情報処理の力。
- 実際の経済で起こっていることを自分の頭で考えるための知的な土台。
- それぞれの身につく力を融合することで、データに基づき経済を分析する力。

データサイエンスを創造的に活用できる能力が身につきます。

講義最前線

新婦は同窓生!キャンパスウエディング



スペシャリストの育成を目的に、各業界の現状やプロのノウハウを短期間で集中して学べる、本学独自のプログラムの一つであるキャンパスウエディング。

今回は2日間にわけて2組のカップルで実施する初の試みにも挑戦しました。1組目は8月17日(土)、一般募集で応募された「家族3人」のアウトホームなウエディングが挙行されました。2組目となる8月18日(日)の新婦は同窓生! 1年生から3年生連続で「キャンパスウエディング」に参加し、3年生のときにはリーダーも務めた経験から、「自分が結婚するときはキャンパスウエディングで」と思っていたそう。その夢が叶った挙式となりました。

詳細はこちら



向山ゼミ

向山先生退任記念講演&記念パーティーが行われました

3月9日(土)、向山雅夫先生の退任記念講演と記念パーティーが行われました。昼の部では大学にて向山先生最後の講演が実施され、119名もの同窓生が集まりました。講演では、先生の生い立ちやこれからの人生設計など、ユーモアをふまえてお話をされていました。夜の部は、神戸メリケンパークオリエンタルホテルで退任記念パーティーが開催されました。こちらには162名の同窓生が参加し、さながら会場はプチ同窓会となり大変な盛り上がりとなりました。



「同窓生による経営者の交流会」分科会「経営者の会」

同窓生の経営者層(経営者・個人事業主・起業を目指す方・経営に関心のある方など)同士が交流できる分科会「経営者の会」が2017年に発足しました。経営者層同士の交流・情報交換を目的とした分科会です。今後も交流会や勉強会などを実施予定ですので、多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

経営者の会 in 東京

10月18日(金)、4年ぶりとなる経営者の会を東京にて開催しました。第一部では勉強会として、同窓生でマークスライフ株式会社の代表取締役の花原浩二さん(1999年卒)に「成仏不動産が語る、事故物件の知られざる世界」というテーマで講演いただきました。不動産業界の話はもちろん、「人生をかけて「事故物件で困っている人」を助けたい」という強い想いが印象的でした。その後は質疑応答があり、参加者からのいろんな質問やそこから派生するディスカッションなど、時間が足りないほどでした。第二部の懇親会では、名刺交換が行われたのち、参加者から自社の紹介や取り組みなどを話し、お互いのことをよく知れる場となりました。毎回参加の同窓生もいれば今回初めて参加の同窓生もおられましたが、同じ同窓生ということですぐに打ち解けて交流を持つことができたようでした。普段はなかなか接点がない同窓生同士、交流できる場として活用してもらえる場として継続していきます。次回も多くの方に参加していただけますよう、ご参加をお待ちしています。



関西では2025年1月24日(金)神戸で開催予定です。

クラブ・サークル・ゼミなど同窓生の会をサポート『個別同窓会』援助制度とは

制度について

同窓生同士の交流機会を増やすことで同窓生と有朋会が共に発展することを目指した、クラブ、サークル、ゼミのOB・OG会や同期会といった流通科学大学同窓生の会をサポートする制度です。

援助内容について

■個別同窓会援助内容

- (1) 個別同窓会開催案内送付の代行(往復はがき、または通常はがきによる郵送、郵送料は有朋会負担)ただし、開催日の1ヶ月以上前に申請が必要。(年1回に限る)
- (2) 記念式典への祝電・同窓会グッズ(法被、横断幕等)の貸与
- (3) 教員の交通費・宿泊費の一部負担(個別同窓会参加費補助規定による)
- (4) 現役生を支援するための費用の一部負担(個別同窓会支援金補助規定による)

申請について

■申請資格

以下の条件を満たす団体であること。
有朋会会員で構成される流通科学大学同窓生の組織であり、営利・政治・宗教活動以外を目的とした10名以上の団体で、具体的には下記の(1)~(3)の団体が対象です。有朋会の認定した団体としての効力は1年間で、更新する場合は、その都度更新手続きが必要となります。
(1) クラブ、サークル、ゼミのOB・OG会
(2) 卒業年次(同期会)
(3) その他、幹事会が認める団体

申請は規定の申請用紙に必要事項を記入の上、有朋会事務局に書類の提出をお願いします。その他、詳細については有朋会ホームページをご覧ください。

流神会(剣道部OB会)

2023年11月25日(土)、創部30周年を記念したイベントが行われました。当日は大学の武道場でOB・OGと現役生による合同稽古を行った後、記念パーティーが開催され、6期から29期生まで多くのOB・OGが参加し、世代を超えた交流となりました。記念パーティーでは、長年お世話になった師範の先生に感謝の気持ちとして防具一式の目録の贈呈、現役生には活動支援として寄付金の贈呈が行われました。師範の先生方、顧問の先生方、OB・OGの皆さん、現役生、剣道部に関わる全ての方が途切れることなく縦の糸を繋いできたお陰で今があります。多くの方々を支えられて迎えることができた30周年となりました。



男子ラクロス部OB会

9月22日(日)、流通科学大学にて男子ラクロス部のOB会が開催されました。台風接近で開催が危ぶまれましたが小雨の中、学生合同チーム&コーチ対OB&クラブチーム連合での試合を何とか無事に行い、結果は1対1の引き分けとなりました。リーグ戦期間中でしたが、現役生たちは接戦の試合でしか味わえない緊張感を体験でき、ラクロスに対するモチベーションを上げる絶好の機会となったようです。試合後のOB総会では現役生とコーチからの活動報告や、OBから現役生へのアドバイスなどを行いました。



初年次教育プログラム「気づきの教育」が行われました

2015年度から実施されている流通大独自の初年次教育プログラム「気づきの教育」。その中で卒業生との交流を通して、充実した学生生活や学び方のヒントをもらい、行動力を高め、視野を広げるためのカリキュラムです。コロナ禍では対面での授業は実施できませんでしたが、今年は5月14日(火)・17日(金)の2日間で実施され、多くの同窓生が講師として登壇しました。講義の内容は、学生時代にあったエピソードから現在の仕事のことまで講師それぞれの授業が行われました。また、講義後は同窓生同士での交流も行われていました。



在学生支援のイベントが実施されました

有朋会では在学生支援の一環として在学生を対象としたさまざまなイベントを実施しています。2023年12月4日(月)・8日(金)に「サブアート&しめ飾り体験イベント」が開催されました。留学生と日本人学生との交流を目的として企画された「しめ飾り体験イベント」は、日本の伝統文化であるしめ飾りを実際に作る所から体験してみようというもので、2020年から実施され今回で4回目の開催となり、同窓生の岩佐美千子さん(2006年卒)が講師を務められました。さらに今回は「サブアート体験」も加えた2本立て。交流しながらの制作体験に、みな大満足の様子でした。



有朋会公式SNS 同窓会と大学の「今」をお知らせ



facebook



Instagram



X



LINE

有朋会

<https://www.yuho-kai.com>



2023年度卒業式が行われました

3月22日(金)、2023年度学部卒業式・大学院修了式が神戸ポートピアホテルで行われました。昨年度から通常通りの卒業式が挙行できるようになり、壇上には多くのご来賓・教員が並び、ホール2階にも多くの保護者の姿がありました。式典では、早期卒業生5名と各学部・学科の代表者に、学長より卒業証書と学位記が授与され、式辞として『3つのお願い』についてお話があり、理事長からは卒業生にエールが贈られました。また、有朋会会長からも祝辞と歓迎の言葉が贈られました。式典後の記念パーティーでは、4年間で共に過ごした仲間、またお世話になった教職員と食事を楽しみながら語らいの場を持った卒業生たち。満面の笑顔で学生生活最後のひとときを過ごしました。



有朋会賞が授与されました

「流通科学大学の卒業生として「誇り」に感じられる活動を行った学生」を同窓会として表彰する有朋会賞。2023年度は5名が選出され、贈呈式が行われました。(王 乃仙さんには後日に授与)



左から石川 悠成さん、ゴー ティ コック チンさん、関口 楓さん、中野 友翔さん

9月卒業式が行われました

9月19日(木)、2024年度9月学部卒業式・大学院修了式が流通科学大学で行われ、学長より卒業生全員に卒業証書と学位記が授与されました。式典終了後は、RYUKA DININGにて『卒業記念パーティー』を開催。卒業生は各々、お世話になった教職員や友人たちと思い出を語り合いながら過ごしていました。



卒業生図鑑2024を発刊しました

有朋会では設立30周年を記念して行った事業の一環として、2022年度から「卒業生図鑑」を発刊しています。活躍する同窓生を紹介した冊子で、在学生に同窓生の活躍を知ってもらうものとして活用しています。2024年度も「卒業生図鑑2024」を発刊し、新入生の初年次教育にて配付、活用いただきました。2025年度も発刊予定で、寄稿していただく同窓生を募集しています。詳細は有朋会のホームページをご覧ください。



東京探検隊で留学生との交流が行われました

1月29日(月)・30日(火)に留学生への就職支援として在京企業見学ツアーを行う『東京探検隊』が実施され、23名の留学生が参加しました。1日目の夜には、東京で勤務している留学生の同窓生も駆けつけ、在学生と交流し、就職に向けたアドバイスを送りました。



中四国支部 バーベキュー大会が開催されました

6月1日(土)、岡山市内の「一富士本店 バーベキュースタジアム」で、中四国支部の交流イベントのバーベキュー大会が開催されました。中四国支部イベントとしてはコロナ禍以前からの久しぶりの開催で、当日は幅広い世代の同窓生やそのご家族が集い、蓬郷支部長の挨拶でスタート。黒毛和種岡山産「千屋牛」を堪能しながら、在学当時の懐かしいエピソードトークで大変盛り上がりしました。年代によって大学での居場所や授業・部活など、それぞれの学生生活が時代で異なっていることなど話題が尽きませんでした。楽しい時間もあっという間に過ぎ、大久保副支部長の閉会の挨拶をもってお開きとなりました。中四国支部ではこれを機にイベントを開催していきますので、是非次回のご参加をお待ちしています。



九州支部 勉強会・交流会が行われました

6月8日(土)、九州支部の勉強会が福岡で開催されました。勉強会では上田義朗先生による講義として、「ビジネス人脈の作り方と留意点—「弱い紐帯の強み」の体験的な教訓—」というテーマで、人脈作りの方法や留意点を体験をふまえて講演をしていただきました。懐かしの上田先生の授業とあり、参加者は熱心に受講していました。終了後の交流会では楽しく盛り上がった会となりました。



りゅうか祭での憩いの場「卒業生ラウンジ」

11月9日(土)・10日(日)に学園祭のりゅうか祭が開催されました。同窓生の休憩・交流スペース「卒業生ラウンジ」を2日間実施し、お子さま連れの方やご友人同士で遊びに来られた方など、多くの同窓生にお越しいただきました。昨年実施したイベントで人気だった、同窓生でプロ似顔絵師の前川夏紀さん(2013年卒)による似顔絵コーナーが今年も実施され、その場で撮影して描くお子さまのイラストはやはり大人気。手持ちの画像でペットのワンちゃんのイラストを依頼される同窓生も。ほかにも中内記念館とコラボ企画のクイズなどを実施しました。今年は天候もよく学園祭に多くの来場者があり学内は賑わっていました。また来年も是非遊びにいらしてください。



東日本支部 バーベキュー大会が開催されました

5月18日(土)、都立新木場公園のバーベキュー広場にて、東日本支部のバーベキュー大会が開催されました。当日は晴天に恵まれ、同窓生やそのご家族、在学生など約40名が参加し、世代を超えて交流を深めました。初めて有朋会のイベントに参加された同窓生も含め、皆さん仕事のことや大学時代の思い出話などで盛り上がっていました。今後も、多くの方に楽しんでいただける企画を考えてまいりますので、次回のイベントにも多くのご参加をお待ちしております。



2023年度決算

(2023年4月1日から2024年3月31日まで)

【収入】 (単位:円)

勘定科目	本年度	決算額	差異
前年度繰越金(資産運用委託金を含む)	452,242,227	452,242,227	0
会費収入	30,100,000	31,010,000	910,000
卒業予定者数	860名	886名	26名
受取利息収入	500	402	△98
カード収入	1,500,000	1,306,174	△193,826
広告宣伝収入	150,000	0	△150,000
各種懇親会参加費収入	100,000	0	△100,000
雑収入	0	3,411	3,411
資産運用収入	1,600,000	1,985,864	385,864
前年度繰越金を除く収入計	33,450,500	34,305,851	
合計	485,692,727	486,548,078	

【支出】 (単位:円)

勘定科目	本年度	決算額	差異	
備品・消耗品費	500,000	86,690	413,310	
印刷費	4,800,000	3,657,909	1,142,091	
通信費	4,500,000	3,981,331	518,669	
会議費	200,000	175,963	24,037	
交通費(出張旅費含む)	1,700,000	1,395,633	304,367	
年間事業費	学園祭	200,000	112,845	87,155
	ホームページ	1,400,000	954,812	445,188
	各種イベント	5,000,000	3,925,135	1,074,865
	広告宣伝	100,000	0	100,000
人件費	1,400,000	1,200,000	200,000	
システム関連費	500,000	96,844	403,156	
卒業記念パーティー	5,500,000	5,500,000	0	
慶弔費	200,000	0	200,000	
手数料等	100,000	39,666	60,334	
支部交流援助金・支部年間事業費	1,500,000	855,955	644,045	
個別同窓会援助費・大学助成	4,000,000	2,733,179	1,266,821	
カード加入促進費	100,000	0	100,000	
予備費	1,000,000	64,804	935,196	
資産運用委託金	414,000,000	407,318,327	6,681,673	
小計	446,700,000	432,099,093	14,600,907	
(資産運用委託金を除く支出計)	32,700,000	24,780,766		
繰越金	38,992,727	54,448,985		
合計	485,692,727	486,548,078		

2024年度予算

(2024年4月1日から2025年3月31日まで)

【収入】 (単位:円)

勘定科目	本年度	前年度	差異
前年度繰越金(資産運用委託金を含む)	461,767,312	452,242,227	9,525,085
会費収入	33,600,000	30,100,000	3,500,000
卒業予定者数	960名	860名	100名
受取利息収入	500	500	0
カード収入	1,500,000	1,500,000	0
広告宣伝収入	0	150,000	△150,000
各種懇親会参加費収入	100,000	100,000	0
雑収入	0	0	0
資産運用収入	2,000,000	1,600,000	400,000
前年度繰越金を除く収入計	37,200,500	33,450,500	3,750,000
合計	498,967,812	485,692,727	

【支出】 (単位:円)

勘定科目	本年度	前年度	差異	
備品・消耗品費	500,000	500,000	0	
印刷費	4,800,000	4,800,000	0	
通信費	4,700,000	4,500,000	200,000	
会議費	200,000	200,000	0	
交通費(出張旅費含む)	1,700,000	1,700,000	0	
年間事業費	学園祭	200,000	200,000	0
	ホームページ	1,600,000	1,400,000	200,000
	各種イベント	5,000,000	5,000,000	0
	広告宣伝	100,000	100,000	0
人件費	1,400,000	1,400,000	0	
システム関連費	300,000	500,000	△200,000	
卒業記念パーティー	6,500,000	5,500,000	1,000,000	
慶弔費	200,000	200,000	0	
手数料等	100,000	100,000	0	
支部交流援助金・支部年間事業費	1,500,000	1,500,000	0	
個別同窓会援助費・大学助成	4,000,000	4,000,000	0	
カード加入促進費	0	100,000	△100,000	
予備費	1,000,000	1,000,000	0	
資産運用委託金	434,000,000	414,000,000	20,000,000	
小計	467,800,000	446,700,000	21,100,000	
(資産運用委託金を除く支出計)	33,800,000	32,700,000		
繰越金	31,167,812	38,992,727		
合計	498,967,812	485,692,727		

有朋会

会長/岡本 一展 (95年3月卒 4期生)

副会長 兼 事務局長/安田 政彦 (96年3月卒 5期生)

副会長/茨木 耕司 (95年3月卒 4期生)

副会長/林 慶太郎 (01年3月卒 10期生)

副会長/藤井 洋三 (04年3月卒 13期生)

監査/岡田 茂 (95年3月卒 4期生)

監査/松岡 高史 (99年3月卒 8期生)

東日本支部

設立年月日 1995年4月26日

支部長/高村 信希 (14年3月卒 23期生)

副支部長/齊藤 弘文 (96年3月卒 5期生)

游 雅 (98年3月卒 7期生)

大和田 貴子 (08年3月卒 17期生)

黒田 樹 (18年3月卒 27期生)

中部支部

設立年月日 1997年9月13日

支部長/平田 雅輝 (94年3月卒 3期生)

大阪支部

設立年月日 2011年6月18日

支部長/船越 信行 (04年3月卒 13期生)

神戸支部

設立年月日 2011年6月18日

支部長/岩佐 美千子 (06年3月卒 15期生)

副支部長/新村 雅人 (96年3月卒 5期生)

三浦 芳嗣 (97年3月卒 6期生)

酒井 誠 (00年3月卒 9期生)

野田 健 (09年3月卒 18期生)

中四国支部

設立年月日 2006年12月9日

支部長/蓬郷 健 (01年3月卒 10期生)

副支部長/大久保 慶一 (16年3月卒 25期生)

九州支部

設立年月日 1998年10月30日

支部長/三島 一郎 (04年3月卒 13期生)

副支部長/野口 勝利 (93年3月卒 2期生)

神崎 和子 (94年3月卒 3期生)

岩谷 栄徳 (99年3月卒 8期生)

台湾支部

設立年月日 2001年9月15日

支部長/陳 玉燕 (大学院01年3月修了)

副支部長/李 宗翰 (大学院07年3月修了)

中華人民共和国(上海)支部

設立年月日 2002年10月20日

支部長/孫 偉 (01年3月卒 10期生)

副支部長/王 海明 (00年3月卒 9期生)

中華人民共和国(大連)支部

設立年月日 2019年6月1日

支部長/曲 曉娣 (大学院10年3月修了)

副支部長/金 聖亮 (大学院10年3月修了)

大韓民国支部

設立年月日 2004年7月3日

支部長/金 惠蘭 (大学院05年3月修了)

副支部長/朴 相賢 (02年3月卒 11期生)

崔 甫息 (02年3月卒 11期生)

ベトナム支部

設立年月日 2016年12月10日

支部長/グェントウイトウエット オアン (16年3月卒 25期生)

副支部長/グェン ティー チャム アン (16年3月卒 25期生)

チャン タン ヴィ (16年3月卒 25期生)

総会・交流イベントが開催されました

5月25日(土)、2024年度の有朋会総会が開催されました。総会では昨年度の事業報告・決算報告のほか、今年度の事業計画・予算案について審議されました。また、総会終了後には在学生との交流イベントも実施され、同窓生・在学生を含め約100名が参加した賑やかなイベントとなりました。



流通科学大学が今後とも「進化し続ける大学」であるために

2024年度 卒業生アンケートへのご協力をお願いいたします

学長 清水 信年

昨年度は多数の卒業生のみなさまにアンケートへのご回答をいただき、誠にありがとうございました。本年度もアンケートにご協力をお願いいたします。

今回は質問の数を絞り、5分から10分ほどで回答いただけるようにいたしました。今後とも本学が進化を続けるために、寄せられた卒業生の声を、引き続き、本学が提供する教育プログラムの改善につなげていきたいと考えています。

つきましては、ぜひ、右の特設サイトから、ご回答をお寄せください。

(ご回答〆切:2025年3月31日(月)まで)

なお、ご回答内容は本学のプライバシー・ポリシーに則り厳正に管理いたしますので、卒業生のみなさまの率直なお考えをお知らせくださるようお願いいたします。



中内学園流通科学大学 寄付金

本学では学生のための奨学支援や教育環境・施設設備の一層の充実を図るべく、本学の理念や取り組みにご賛同くださる皆様から広く寄付金、ご支援を仰ぐ寄付金制度を設けています。

昨今の厳しい経済情勢のなか誠に恐縮でございますが、今後の流通科学大学と教育活動の発展に是非ご期待いただき、格別のご協力を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

皆さまからいただいた 寄付金の使途

- ・大学における教育研究の振興
- ・奨学金制度の充実
- ・課外活動支援の強化
- ・大学の施設設備の充実

詳しくは、
大学HPまで



卒業生子女入学奨学金のご案内

2025年度流通科学大学入学者を対象に、本学卒業生の子女が入学する場合、入学時に20万円の奨学金が支給されます。

項目	内容
資格・要件	流通科学大学の入学試験を経て新たに入学した学生で、流通科学大学卒業生の子女に支給されます。
支給方法	給付
支給期間	入学時1回限り
金額	20万円

詳細につきましては、学生課(078-794-3552)までお問い合わせください。

震災30年メッセージ

未来へつなぐ「1.17」震災の体験・メッセージを募集します

阪神・淡路大震災から30年――

未来に伝え、活かすために、あなたの「あの日」を教えてください。

あの時あの場にいた方も、家族や友人から聞いた方も、震災について思うこと、感じることを聞かせてください。

詳しくは、有朋会HPまで

住所・連絡先が変わった方へ

住所や勤務先が変わられた方、ご結婚等でお名前を変えられた方は、有朋会事務局までお知らせください。ホームページより入力も可能です。

※住所、氏名等の変更手続きがなければ郵送物(会報誌等)が未着となりますので、必ずご連絡をお願いいたします。



特別講義のご案内

卒業してからも受講できます。なお、学生の受講状況によってはお断りする場合がございます。あらかじめご了承ください。

※本学卒業生のみ受講可能です。卒業生以外の方は受講できません。



資格講座のご案内

大学で開講されている資格取得講座を受講できます。お得な割引特典もありますので、ぜひご利用ください。



企画発行元

有朋会事務局

掲載内容の無断転載、複写を禁じます。

●各種お申込み・お問い合わせは、有朋会 HP・メール・電話をご利用ください

〒651-2188 神戸市西区学園西町3丁目1番

TEL:078-796-4397 FAX:078-796-4124

有朋会 HP URL <https://www.yuho-kai.com/>

E-mail: umds_yuho@red.umds.ac.jp